

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2020年11月13日
【四半期会計期間】	第16期第3四半期（自 2020年7月1日 至 2020年9月30日）
【会社名】	ユナイテッドグロウ株式会社
【英訳名】	Unite and Grow Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 須田 騎一郎
【本店の所在の場所】	東京都千代田区神田駿河台四丁目3番地
【電話番号】	03-5577-2091（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役 管理本部長 岡 美恵子
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区神田駿河台四丁目3番地
【電話番号】	03-5577-2091（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役 管理本部長 岡 美恵子
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第15期 第3四半期 連結累計期間	第16期 第3四半期 連結累計期間	第15期
会計期間	自 2019年1月1日 至 2019年9月30日	自 2020年1月1日 至 2020年9月30日	自 2019年1月1日 至 2019年12月31日
売上高 (千円)	1,186,003	1,249,304	1,624,358
経常利益 (千円)	156,579	160,033	191,286
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	111,606	109,596	133,964
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	111,606	109,596	133,964
純資産額 (千円)	591,740	1,139,601	1,043,368
総資産額 (千円)	984,405	1,563,353	1,532,456
1株当たり四半期(当期)純利益 金額 (円)	38.54	30.15	45.78
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	27.86	41.01
自己資本比率 (%)	60.1	72.9	68.1

回次	第15期 第3四半期 連結会計期間	第16期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 2019年7月1日 至 2019年9月30日	自 2020年7月1日 至 2020年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	17.75	11.77

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第15期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であったため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。
4. 当社は、2019年12月18日に東京証券取引所マザーズ市場に上場したため、第15期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額は、新規上場日から2019年12月期末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
5. 当社は、2019年9月14日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を、2020年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。第15期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しております。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び連結子会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大による事業への影響については、今後も注視してまいります。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大による経済活動の停滞が段階的に再開しておりますが、依然として厳しい経済環境が継続しております。

企業においては、コーポレートIT部門の人材不足を背景に、コロナ禍でのテレワークの増加、ウェブ会議などの定着やDX（デジタルトランスフォーメーション）の加速、またそれに伴う情報セキュリティへの需要が拡大しております。

このような状況のなか、当社グループは、企業のコーポレートIT部門に対する支援に注力してまいりましたが、インソーシング事業においては、リモート形式での商談により契約までの期間が約2ヶ月（通常の2倍強）かかったことや顧客都合による新規プロジェクトの延期、セキュリティ事業においても顧客都合による案件規模の縮小や教育・研修サービスのオンライン切替え対応等により、売上高に僅かな影響が生じました。

一方、各事業のサービス提供及び教育研修等のリモートでの実施や計画していたシステム投資の実施時期の見直し等により、販売費及び一般管理費に一部未費消が生じたため、当第3四半期連結累計期間における営業利益及び経常利益は、堅調に推移いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高1,249,304千円（前年同期比5.3%増）、営業利益160,233千円（前年同期比0.9%増）、経常利益160,033千円（前年同期比2.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益109,596千円（前年同期比1.8%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

インソーシング事業

企業のコーポレートIT部門への支援に注力するとともに、コーポレート・エンジニア（シェアード社員）の採用を積極的に行い、インソーシング事業の人員は、前連結会計年度末に比べ19人増加し、153人となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間においては、売上高1,152,617千円（前年同期比12.3%増）、セグメント利益434,569千円（前年同期比12.3%増）となりました。

セキュリティ事業

顧客の業績不振による案件規模の縮小や教育・研修サービスのオンライン化対応等により延期などが発生したものの、オンライントレーニングコースの開始等により、業績への影響は軽微に留まりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間においては、売上高96,687千円（前年同期比39.4%減）、セグメント利益9,878千円（前年同期比72.8%減）となりました。

(2) 財政状態の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は1,563,353千円となり、前連結会計年度末に比べ30,897千円増加いたしました。

流動資産については、現金及び預金27,767千円及びその他流動資産2,391千円の増加、売掛金9,277千円の減少により、前連結会計年度末に比べ20,433千円増加し、1,454,091千円となりました。

固定資産については、有形固定資産が31,515千円、無形固定資産が23,209千円、投資その他の資産が54,537千円となり、前連結会計年度末に比べ10,464千円増加し、109,261千円となりました。これは主に、その他投資その他の資産28,282千円の増加、ソフトウェア4,069千円、繰延税金資産5,559千円及びのれん3,321千円の減少によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は423,752千円となり、前連結会計年度末に比べ65,334千円減少いたしました。

流動負債については、未払法人税等12,156千円、未払金61,921千円及びその他流動負債1,367千円の減少、前受金19,220千円の増加により、前連結会計年度末に比べ57,579千円減少し、413,292千円となりました。

固定負債については、長期借入金から1年内返済予定の長期借入金への振替7,316千円により、前連結会計年度末に比べ7,755千円減少し、10,459千円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,139,601千円となり、前連結会計年度末に比べ96,232千円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益109,596千円の計上及び配当金14,524千円の支払により利益剰余金95,072千円が増加したことによります。

(3) 経営方針・経営戦略等

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	11,600,000
計	11,600,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年9月30日)	提出日現在発行数 (株) (2020年11月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	3,642,600	3,642,600	東京証券取引所 (マザーズ)	権利内容に何ら限定 のない当社における 標準となる株式であ ります。 なお、単元株式数は 100株であります。
計	3,642,600	3,642,600		

(注)「提出日現在発行数」欄には、2020年11月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は、含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金 増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年9月1日 (注)	1,821,300	3,642,600	-	304,757	-	264,757

(注)株式分割(1:2)によるものであります。

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2020年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	-	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 1,820,900	18,209	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。なお、単元株式数は100株であります。
単元未満株式	普通株式 400	-	-
発行済株式総数	1,821,300	-	-
総株主の議決権	-	18,209	-

(注) 1. 当第3四半期会計期間末日現在の発行済株式については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2020年6月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

2. 2020年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。株式数及び議決権の数については当該株式分割前の数値を記載しております。

【自己株式等】

該当事項はありません。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2020年7月1日から2020年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（2020年1月1日から2020年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,394,089	1,421,856
売掛金	14,938	5,661
貯蔵品	6,838	6,389
その他	17,791	20,183
流動資産合計	1,433,658	1,454,091
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	30,870	27,114
その他(純額)	5,511	4,401
有形固定資産合計	36,382	31,515
無形固定資産		
のれん	4,429	1,107
ソフトウェア	26,171	22,101
その他	0	0
無形固定資産合計	30,600	23,209
投資その他の資産		
繰延税金資産	9,268	3,708
その他	22,545	50,828
投資その他の資産合計	31,814	54,537
固定資産合計	98,797	109,261
資産合計	1,532,456	1,563,353

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,543	7,127
1年内返済予定の長期借入金	11,004	10,067
未払金	99,900	37,978
未払法人税等	41,441	29,284
前受金	258,376	277,597
その他	52,606	51,238
流動負債合計	470,871	413,292
固定負債		
長期借入金	7,316	-
資産除去債務	7,163	7,175
その他	3,735	3,284
固定負債合計	18,215	10,459
負債合計	489,087	423,752
純資産の部		
株主資本		
資本金	304,177	304,757
資本剰余金	283,322	283,902
利益剰余金	455,868	550,941
株主資本合計	1,043,368	1,139,601
純資産合計	1,043,368	1,139,601
負債純資産合計	1,532,456	1,563,353

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	1,186,003	1,249,304
売上原価	637,971	676,862
売上総利益	548,031	572,442
販売費及び一般管理費	389,291	412,208
営業利益	158,740	160,233
営業外収益		
受取利息	28	17
法人税等還付加算金	22	-
その他	13	2
営業外収益合計	64	19
営業外費用		
支払利息	224	209
上場関連費用	2,000	-
その他	-	9
営業外費用合計	2,224	219
経常利益	156,579	160,033
税金等調整前四半期純利益	156,579	160,033
法人税、住民税及び事業税	41,070	44,641
法人税等調整額	3,902	5,795
法人税等合計	44,972	50,437
四半期純利益	111,606	109,596
親会社株主に帰属する四半期純利益	111,606	109,596

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	111,606	109,596
四半期包括利益	111,606	109,596
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	111,606	109,596

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
減価償却費	11,273千円	14,638千円
のれんの償却額	3,321	3,321

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年3月28日 定時株主総会	普通株式	11,584	800	2018年12月31日	2019年3月29日	利益剰余金

(注) 2019年9月14日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を、2020年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。1株当たり配当額については、当該株式分割前の金額を記載しております。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの
 該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年3月27日 定時株主総会	普通株式	14,524	8	2019年12月31日	2020年3月30日	利益剰余金

(注) 2020年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。1株当たり配当額については、当該株式分割前の金額を記載しております。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの
 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	インソーシング 事業	セキュリティ 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,026,429	159,573	1,186,003	-	1,186,003
セグメント間の内部売上高 又は振替高	43,920	-	43,920	43,920	-
計	1,070,350	159,573	1,229,924	43,920	1,186,003
セグメント利益	387,112	36,370	423,482	264,742	158,740

(注)1. セグメント利益の調整額 264,742千円には、セグメント間取引消去 43,920千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 220,821千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	インソーシング 事業	セキュリティ 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,152,617	96,687	1,249,304	-	1,249,304
セグメント間の内部売上高 又は振替高	25,428	-	25,428	25,428	-
計	1,178,045	96,687	1,274,733	25,428	1,249,304
セグメント利益	434,569	9,878	444,448	284,214	160,233

(注)1. セグメント利益の調整額 284,214千円には、セグメント間取引消去 25,428千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 258,786千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額 (円)	38.54	30.15
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円)	111,606	109,596
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円)	111,606	109,596
普通株式の期中平均株式数 (株)	2,896,200	3,635,436
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 (円)	-	27.86
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額 (千円)	-	-
普通株式増加数 (株)	-	297,915
(うち新株予約権 (株))	(-)	(297,915)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

- (注) 1. 前第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であったため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。
2. 当社は、2019年9月14日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を、2020年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年11月12日

ユナイテッドグロウ株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 下条 修司 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 山本 恭仁子 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているユナイテッドグロウ株式会社の2020年1月1日から2020年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2020年7月1日から2020年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（2020年1月1日から2020年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ユナイテッドグロウ株式会社及び連結子会社の2020年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。